

銘柄紹介

スマートバリュー [9417・100 株]

6月16日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年5月27日(水)

更新: 13時24分

株式会社フィスコ

テーマ関連の小型案件として人気化へ

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	1500円～1600円
予想PER	12.3倍～13.1倍
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	3500円～7000円
予想PER	28.6倍～57.3倍

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	5月28日
ブックビルディング期間	6月1日～6月5日
公開価格決定	6月8日
申込期間	6月9日～6月12日
払込日	6月15日
上場日	6月16日

類似会社 3社

平均PER	25.6倍	→	3,129円
サイバーリンクス<3683>	18.8倍	→	2,298円
ティーガイア<3738>	13.2倍(連)	→	1,613円
エムケイシステム<3910>	44.7倍	→	5,463円

(PERは5月27日現在の会社側予想ベース)

自治体向けクラウドサービス等の提供及び移動体情報通信機器の販売を手掛ける。地域情報クラウドサービスでは、自治体や公的機関向けに広報広聴、防災、防犯、子育て支援、環境、就業支援、観光、商工等の住民情報分野における地域課題の解決に資するクラウドサービスを提供している。

クラウド関連の小型案件として人気化が見込まれる。「マイナンバー」「地方創生」「IoT」「といったテーマに関連した銘柄として物色を集める可能性がある。また、約1ヶ月半ぶりのIPOとなることから、初値買い意欲の高まりも期待される。

公開規模については6億円程度となる見込みで、需給面は非常に良好と言える。6/16は有力バイオベンチャーとして知られるヘリオス<4593>が同時上場するが、軽量感を重視する初値買い投資家の関心はスマートバリューに向かうとみる。



新規公開株レポート



銘柄紹介

スマートバリュー [9417・100 株]

6 月 16 日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015 年 5 月 27 日 (水)

更新：13 時 24 分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2012/2	159	—	53	—	23	—
2012/6	43	—	▲ 78	—	▲ 311	—
2013/6	6,087	14039.6%	127	—	517	—
2014/6	6,370	4.7%	149	16.9%	86	-83.3%
2015/6 予	6,421	0.8%	203	35.8%	132	52.8%
2015/3 3Q	4,889	—	240	—	160	—
予想 EPS/配当		単独: 122.22 円(上場時発行済株式数で試算)/0.00 円				

業績コメント

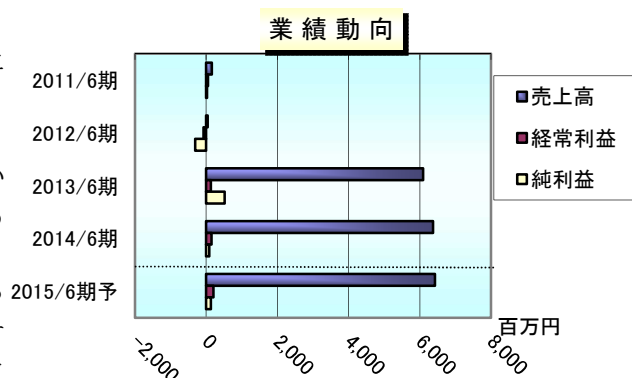
2015 年 6 月期の業績は、売上高が前期比 0.8%増の 64.2 億円、経常利益が同 35.8%増の 2.0 億円と増収増益の見通しとなっている。

足元では、同社が属する国内クラウド市場では、クラウドサービスを利用する企業が年々増加しており、コスト削減を始めとした IT の効率化に期待が寄せられるとともに、クラウドは事業や社会活動を変革するプラットフォームとなることで、より高い成長性が期待されている。

特定業種業務向け SaaS (サービス型ソフトウェア) として同社がサービス提供を行う、自治体及び公的機関向けの地域情報クラウド分野においては、オープンガバメント(インターネットを活用して開かれた政府) への理解が深まったことにより、クラウドサービスやスマートフォンアプリの需要が拡大し、市場は堅調に伸びている。また、昨今の自然災害の発生における防災意識の高まり等からも、民間・公共ともにクラウドサービスへの期待が高まっている。同社は、「社会課題をクラウドサービスで解決する企業」を標榜し、クラウ

ド化、スマートデバイス化、ソフトウェアの流れの中で、クラウドサービスの提供に注力している。

なお、通期計画に対する第 3 四半期末時点における進捗率は、売上高 48.8 億円で 76.1%、経常利益 2.4 億円で 118.2%となっている。



銘柄紹介

スマートバリュー [9417・100 株]

6月16日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年5月27日(水)

更新: 13時24分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要

所在地	大阪府大阪市西区靱本町二丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 渋谷順(昭和38年11月14日生)
設立	昭和22年6月9日
資本金	1000万円(平成27年5月13日現在)
従業員数	223人(平成27年3月31日現在)
発行済株式数(上場時)	1,080,000株(予定)
公開株式数	公募280,000株 売出60,000株 (オーバーアロットメントによる売出51,000株)
公開規模	5.9億円~6.3億円(OA含む)
事業内容	自治体向けクラウドサービス等の提供及び移動体情報通信機器の販売

売上高構成比率 (2014/6期実績)

品目	金額	比率
クラウドソリューション事業	2,098 百万円	32.9 %
モバイル事業	4,271 百万円	67.1 %
合計	6,370 百万円	100.0 %

幹事証券団 (予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	大和証券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	エース証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

スマートバリュー [9417・100 株]

6月16日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年5月27日(水)

更新: 13時24分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位10位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	渋谷 一正	348,200 株	43.53 %
2	渋谷 順	307,800 株	38.48 %
3	(株)SDV	144,000 株	18.00 %
合計		800,000 株	100.00 %

その他情報

手取金の使途	以下の投資等に充当する予定。 (1)データセンター設備の容量拡大及びサービスレベルの向上を目的として、新たに蓄電池装置、空調管理装置、消火設備装置、セキュリティ監視装置等の設備投資資金として (2)データセンターにおいてクラウドプラットフォームの収益拡大を目的とした、高性能サーバ及びネットワーク機器等の増強等の設備投資資金として (3)クラウドサービス提供目的のソフトウェア開発投資資金として (4)管理会計、顧客管理等の管理機能の強化及び営業進捗管理等の業務効率化を目的とした全社基幹システムの導入及び基幹システムの機能追加・改修として (5)今後の企業規模拡大に備え、即戦力となる中途採用及び積極的な新卒採用を行う上での人材採用費用(媒体費用及び人材紹介会社への紹介費用等)として (6)残額については、将来の設備投資資金に充当する予定	
関係会社	-	
VC売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	-
	割当先	-
	発行価格	-

スマートバリュー [9417・100 株]

6月16日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年5月27日(水)
更新: 13時24分
株式会社フィスコ



銘柄紹介

同社は「社会課題をクラウドサービスで解決する企業」を標榜してしている。事業としては、(A) クラウドソリューション事業と (B) モバイル事業の2つのセグメントに分類される。

(A) クラウドソリューション事業

(A1) 地域情報クラウド

自治体及び公的機関向けに広報広聴、防災、防犯、子育て支援、環境、就業支援、観光・商工等の住民情報分野における地域課題の解決に資するクラウドサービスを提供する。これらクラウドサービスを包括する地域情報クラウドプラットフォーム“SMART L-Gov”を基盤として、SMART CMS (以下 CMS)、SMART OPENDATA、SMART APPS、SMART ALERT を中心としたクラウドサービスを提供している。基本的な受注方法は一般公募入札が多く、初期の構築費用とストック型の月額利用料とで売上を構成する。なお、地域情報クラウドにおける主要4サービスの自治体及び公的機関との契約数は2015年3月現在で123件(近畿82、関東36、信越北陸2、中国2、東海1)と順調に拡大している。

(A2) クラウドプラットフォーム

物理的なデータセンターサービスを提供する、都市型データセンター“おおさかiDC”及び、堺市との協業により設置した“S-CUBE iDC”により運営する。仮想化技術を用いたクラウドサービス“Smart VDC”は、パブリッククラウドサービス“おまかせIaaS”及びプライベートクラウド環境を提供する“VMホスティング”により構成される。クラウドシステムの構築・運用ノウハウを活かし、自治体、公的機関及び法人に対して24時間365日のオペレーション(システム運用管理)といったマネージドサービス等の付加機能も提供する。

(A3) モビリティ・サービス

商用車を活用する法人顧客向けに、カーナビゲーションやドライブレコーダー等の安全運転支援機器を販売するカーソリューションがモビリティ・サービスが売上高の約9割を占める。これをベースに、運行管理・安全運転支援を目的としたテレマティクスサービスを提供するモビリティ・クラウドソリューションの展開を図っている。モビリティ・クラウドソリューションにおいては、蓄積された技術・ノウハウを活かし、幅広くM2Mやスマートデバイスの利活用をベースとした受託案件についても提供する。さらに、法人向けのスマートフォンをはじめとする移動体情報通信機器等の販売も行っている。

(B) モバイル事業

当事業では、NTTドコモ<9437>の一次代理店であるダイヤモンドテレコムと締結している「代理店契約書」及びNTTドコモ、ダイヤモンドテレコムとの三者契約である「ドコモショップの業務再委託に関する覚書」に基づき、大阪府下にドコモショップを6店舗運営する。NTTドコモが提供する移動体情報通信機器の販売、料金プランのコンサルティング、各種契約取次、料金の収納、故障受付などのサービス提供と、家庭向け光ブロードバンド回線の取次なども行っている。また、顧客からの販売代金の他、ドコモショップの運営に対し、販売関連のインセンティブと支援費がNTTドコモからダイヤモンドテレコムに支払われており、同社もダイヤモンドテレコムからこれらの対価を受け取っている。

スマートバリュー [9417・100 株]

6 月 16 日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015 年 5 月 27 日 (水)

更新：13 時 24 分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資のポイント

クラウド関連の小型案件として人気化が見込まれている。また、クラウド関連の IPO 案件は高初値が続いている。3/17 にマザーズへ上場したコラボス<3908>は公開価格比+137.6%、同日上場でマイナンバー関連として人気化したエムケイシステム<3910>は同+332.0%の上昇を見せた。同社の公開規模もコラボスやエムケイシステムと同水準であるほか、「マイナンバー」「地方創生」「IoT」といったテーマに関連した銘柄として物色を集める可能性がある。また、約1ヶ月半ぶりの IPO となることから、初値買い意欲の高まりも期待されよう。

同社は、自治体、公的機関及び法人向けにクラウドサービスを提供するストック事業の「クラウドソリューション事業」と、大阪府下でドコモショップ 6 店舗を運営する「モバイル事業」を展開する。地域情報クラウドサービスでは、自治体や公的機関向けに広報広聴、防災、防犯、子育て支援、環境、就業支援、観光、商工等の住民情報分野における地域課題の解決に資するクラウドサービスを提供している。2015 年 3 月末時点での自治体、公的機関との契約数は 123 件で、今後も積極的な営業展開を推進する。

業績面について、2015 年 6 月期は売上高が前期比 0.8%増の 64.2 億円、経常利益が同 35.8%増の 2.0 億円と増収増益の見通しとなっている。想定仮条件水準の今期予想 PER は 12~13 倍程度となり、類似企業と比較して値ごろ感がある。

公開規模については 6 億円程度となる

見込みで、小型に位置付けられる。渋谷一正会長、渋谷順社長及びその関連会社で発行済株式のすべてを保有しており、需給面は非常に良好と言える。なお、6/16 は有力バイオベンチャーとして知られるヘリオス<4593>が同時上場する。ただ、ヘリオスは公開規模約 100 億円の大型案件となる見込みで、軽量感を重視する初値買い投資家の関心はスマートバリューに向かうとみる。

銘柄紹介

スマートバリュー [9417・100 株]

6月16日 JASDAQ スタンダード市場上場

2015年5月27日(水)

更新: 13時24分

株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレーム) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。

本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等：株式会社SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会